

農家と非農家みんなで農地保全

(組織名) 見山環境保全会 (市町村) さいたま市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
6.63ha	10.17ha	5.6km	—km	—km	—箇所	—km

2 活動組織の構成員

- 農業者 17人
- 非農業者 約52人
- 主な構成団体 NPO 法人水のフォルム

3 地域の様子と取組内容

当地区は東京都心から20～30km圏内に位置する通称「見沼田んぼ」内にある昔ながらの田園が残る貴重な農村地帯ですが、近年の慢性的な担い手不足や農業従業者の高齢化、そして農業水利施設の老朽化が進み、農業従事者のみで農地の維持管理を進めることが困難になりつつあります。

そのため多面的機能支払交付金を活用し、農業者と非農業者が“新たな共同体”を構築し、水路の草刈りや清掃活動を行い、とくに用水路の草刈りでは、連携する障害者施設も参加し、健全者・障害者協働で作業しています。

また遊休農地解消のため、農家が続けてきた循環型伝統農法による水田耕作も一部導入していることから、昔ながらの景観が保全され、土地の生態系も戻り、年間を通じての作業と並行して生き物観察会も随時行っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検・機能診断	<ul style="list-style-type: none"> ・年度活動計画の策定 ・生物多様性保全計画の策定 ・水質保全計画、農地保全計画の策定 ・資源循環計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り・泥上げ ・水路の軽微な補修 ・無農薬、人力による田植え(景観形成・農村環境保全活動) ・生物の生息状況の把握(生態系保全) ・障害者グループとの草刈り(福祉との連携)



水路の草刈り



水路側壁の裏込め材の充填



人力による田植え



生態系調査



昔ながらの風景（ハサカケ）

5 取組の効果及び今後の展望等

見沼農家が代々引き継いできた循環型伝統農法は手間暇かかります。それを担ってきた農家の女性はみな腰が曲がってしまいました。しかし都市住民なら人手があるのであまり無理せず継承できます。

循環型伝統農法を引き継ぐ田は、それ自体が小動物生息地（ビオトープ）ですが、耕作しにくい沼田の一部を現在、農家の承認を得て掘り下げ、“田んぼビオトープ”に造成中。すでにメダカが泳いでいます。

これら活動を通じて一時消えた生き物が蘇り、それが農家・非農家共通の喜びとなって、新たなコミュニティ形成の大きなモチベーションになっています。

菜の花咲かせて地域交流

(組織名) 東大久保・農地・水・環境保全協議会 (市町村) 富士見市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
32.4ha	ha	3.9km	3.8km	km	箇所	4.9km

2 活動組織の構成員

- 構成人数 838人(農業者97人、非農業者741人)
- 主な構成団体 大上農家組合、大中農家組合、修徳地区農家組合、荒川右岸用排水土地改良区、南畑第一町会、老人会、子ども会育成会、東大久保消防団、JAミドルミセス、母ちゃんの田んぼ塾、東大久保スポーツクラブ

3 地域の様子と取組内容

本地区はびん沼川西側周辺に存する水田地域で、農業用水等の資源や集落環境の良好な保全と質的向上を図るため、将来にわたる集落環境の整備に取り組んでいます。

農地維持活動として、揚水機場周りの草刈り、水路の泥上げに取り組んでおります。さらに、遊休農地の発生を防ぐため、農家の方から管理について相談があった場合は、対応できる人を紹介し耕作を依頼する取り組みを行っております。

また、資源向上活動として、年1回の点検を通じ、必要な農道には砂利敷きを実施しております。景観形成対策として、広範囲の農用地へ菜の花の種を蒔き、緑肥として活用することにより、環境への配慮を行うとともに菜の花フェスタなどのイベントを通じた交流の場を設け、地域の活性化を図っています。また、研修会を実施するなど、環境改善の啓発活動も進めています。

施設の長寿命化としては、素掘りの水路からコンクリート水路への更新に取り組んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農業用施設の点検 ・機能診断	<ul style="list-style-type: none"> ・年度活動計画の策定 ・地域の方へ活動への参画を促す広報活動 	揚水機場周りの草刈り 農道整備(砂利道の整備) 長寿命化工事(土水路→コンクリート水路への更新) 水質検査 菜の花の植栽(緑肥及び地域交流)



地域による地域の藻刈り



農道整備



菜の花祭り



菜の花 刈取り



長寿命化対策工事に伴う測量作業

5 取組の効果及び今後の展望等

農地や農業資源を活用する景観形成をテーマとして、水田の裏作を利用したブロックローテーションによる広範囲への菜の花の植栽、市民へのPRを含めた菜の花祭りなどのイベントを実施し、地域の活性化と協調性の強化を図っています。また、遊休農地が発生しないよう、高齢化により農作業の持続が困難な方と農作業の請負者をつなぐなど、地域の連携による優良農地の維持に取り組んでいます。

今後も活動を継続するとともに、地域の方々の理解がより深まるよう交流の機会を持ち、農村環境の保全・向上に努めていきたいです。

地域で共同保全・伝える補修技術

(組織名) 大字下野本地区地域資源保全隊 (市町村) 東松山市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
81ha	-ha	18.1km	-km	-km	-箇所	12.6km

2 活動組織の構成員

○構成員の人数 468人(うち農業者376人 非農業者92人)

○主な構成団体 下野本自治会、中妻自治会、曲輪自治会、今泉自治会、下押垂自治会、矢来用水堰土地改良区

3 地域の様子と取組内容

本地域は、水源である一級河川都幾川左岸沿いに広がる優良な水田地帯です。しかし、昭和33年に圃場整備がされた場所であり、施設の老朽化が進むほか、水路の大半が土水路であることに加え、農業者の高齢化や人口減少などの問題も相まり、泥上げなどの維持管理が難しくなっているのが現状です。

そのため、平成19年度より農地・水・環境保全向上対策や施設の維持管理等に取組み、平成26年には資源向上活動(長寿命化)にも取り組み、現在に至ります。

取組内容としては、農地や水路周辺の草刈り、水路の補修や更新、泥上げなどを定期的におこなっているほか、資源向上活動として、地元自治会と協力して定期的に農地の清掃活動を行っています。

施設の長寿命化のための活動としては、水路補修や素掘り水路からコンクリート水路への更新等に取り組んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・農用地・水路の点検、機能診断	・点検、機能診断結果を踏まえた活動計画策定 ・地域住民との交流	・畦畔・農用地法面・水路・農道法面の草刈り ・水路の泥上げ ・施設等の定期的な巡回点検・清掃 ・水路の補修・更新

用水路の泥上げ



重機を使った泥上げ



コンクリート土留め板敷設



コンクリート土留め敷設完成



5 取組の効果及び今後の展望等

当該事業の活用により、農業者の農地維持への意識の向上にも繋がっているほか、地域毎に補修工事を実施し、農業用水の確保が可能となりました。

また、地元自治会とも連携し、農地・農道等の定期的な清掃を行うなど、地域における景観形成においても地域で一丸となって取り組んでいます。

特に、地元自治会と共同し水路補修を毎年継続した結果、地域における補修技術の共有化や技術の向上がみられ、業者に劣らぬ補修工事や農用地や水路の保全を保全隊の構成員で行える実力が身につけてきました。

今後も引き続き、可能な限り農地維持等、営農状況の改善を図っていきたいと思います。

地域ぐるみの活動で、ホタル飛び交う郷づくり

(組織名) 関兔田暮坪環境保全協議会 (市町村) 秩父市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
2.99ha	14.69ha	1.9km	1.6km	1.9km	2箇所	5.5km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 構成員106人(うち農家31人)
- 主な構成団体 釜の上水利組合、兔田暮坪地区土地改良組合、
吉田ホタルの郷の会

3 地域の様子と取組内容

当該地区は市の北西部に位置し、一級河川の赤平川左岸の台地に展開する畑を主体とした農業地帯で、ほ場整備実施以前は営農の利便性は低い地域であった。平成18年度に着工した県営ほ場整備事業を契機に、営農生産体制の整備と合わせた「地域ぐるみの保全管理」を行う必要性を考え、平成21年度より組織を立ち上げ活動している。農業生産基盤が整備されたことにより、地域内の約52%を新規農業参入者(企業)や担い手等へ農地を集約し、営農生産活動を実施している。また、新規参入した企業においては、地区内でブドウを栽培し、隣接地に建設した醸造所でワインの製造・販売を行うなど、地域の観光資源としての役割も担っている。このほか、地域内のため池を中心にゲンジボタルの保護活動に努め、ホタルが飛び交う時期には「ほたる祭り」を開催し、地域交流や環境保全活動のPRを実施している。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
遊休農地等の発生状況や施設の点検を行う。	機能診断結果に基づき、年度活動計画を策定する	施設の簡易補修、清掃、景観形成、生物の生息状況の把握



草刈り作業



水路補修



草刈り作業



学校教育連携

5 取組の効果及び今後の展望等

農業者のほか、地域住民を巻き込んだ活動を実施することで、地域資源に対する意識が高まっている。また、ホタルの保護活動を通じて、教育現場や地域住民とのコミュニティー活動が醸成されている。

地域が担う農村の保全活動

(組織名) 上里町農地環境保全広域協定 (市町村) 上里町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
245.1ha	626.4ha	km	171.5km	77.8km	箇所	144.2km

2 活動組織の構成員

○構成員 2,168人

○主な構成団体 施設管理組合(上里、上里西部)、上里土地改良区、上里西部土地改良区

3 地域の様子と取組内容

本地域は、県営ほ場整備事業等により基盤整備が完了し、上里町の農振農用地面積の約90%を占める地域で活動しています。一部の区域では農地中間管理事業を導入し、農地の集積・集約化に取り組んでいます。米麦を始め、ねぎ・白菜などの露地野菜やきゅうりやトマトなどの施設野菜を作付けしています。

農地維持支払に取り組んでおり、排水機能が著しく低下した排水路の浚渫や泥上げ、草刈り作業を行っています。人力では難しい排水路の泥上げは、限られた予算の範囲内で優先順位を決め、民間業者に委託することで計画的に実施しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	施設の浚渫・草刈り・維持管理



排水路の草刈り



重機による排水路の浚渫



排水路の泥上げ



水路法面の植栽

5 取組の効果及び今後の展望等

地域で話し合いを重ねていくことにより、よりよい地域コミュニティが形成され、「地域の今後の保全管理は自分たちが担っていく」というモチベーションの向上につながりました。

農地維持支払の活動の中で、地域内の現地調査を行い、泥上げの必要な排水路を把握できるマップを作成しました。この活動により、地元の方々の意欲が向上し、地元住民の連携が強固されました。

今後も、水路の浚渫工事を中心に、地域課題の解消を図っていきたいと考えています。

活動を通じた地域コミュニティの強化

(組織名) 熊谷市中条地域農地・水・環境保全管理協定 (市町村) 熊谷市

1 地域の資源

田	畑地	開水路	パイプライン	ため池	農道
227ha	0ha	80.7km	72.1km	1箇所	16.0km

2 活動組織の構成員

中条川南自治会、中条川北自治会、大塚自治会、今井自治会、小曾根自治会、老人会、長寿会、第一・第二松葉会、大里用水土地改良区

3 地域の様子と取組内容

○地域の様子

当地区は、ラグビーワールドカップの会場となった熊谷スポーツ文化公園周辺に広がる水田227haを対象に活動しています。

水田の多くは昭和50年から平成2年にかけて実施された農村基盤総合整備パイロット事業により農地整備が完了しています。

農業者の高齢化に伴い、農業用施設等の適切な維持管理が困難となってきていることから、本事業でそれらの適切な管理と地域コミュニティの強化を目的として取組を開始しました。

○取組内容

保全管理活動では、農業者を中心に農業用施設（水路・道路・ため池）の定期的な草刈り、泥上げを実施しています。また、農業用施設の保全管理のために細やかな活動を実施しており、両活動を通して水路の浚渫、農道の砂利敷等で必要に応じて重機をリースし、構成員が安全に配慮しながら操作することで経費節減に努めています。

長寿命化活動では、土地改良区と調整を図りながら地下水機場の更新をしています。

また、農村環境保全向上活動では、地域の清掃活動や景観形成のためのイワダレソウの植栽を、非農業者参加型により実施しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	草刈り、泥上げ 植栽等の景観形成活動、 施設等の定期的な巡回点 検・清掃



水路の浚渫



ため池の草刈り



レンタルした重機による砂利敷均し



重機による水路浚渫



水路法面への防草シート張り
(イワダレソウの植栽準備)



定植したイワダレソウの管理

5 取組の効果及び今後の展望等

定期的かつ積極的な保全管理活動により、農村環境が良好に保たれています。また、イワダレソウは域内の通学路沿線への植栽を完了させています。地下水機場は令和元年度に更新し、営農活動の向上に寄与しています。

本事業に取り組むことで住民同士の交流が図られ、地域が一体となり、地域全体の農村環境を保全することが可能となりました。

景観形成のためのイワダレソウの植栽は、特に交差点箇所の見通しを良好にし、交通事故発生件数を減少させています。

今後も活動を継続し、農業用施設の保全はもちろんのこと、美しい景観を誇る農村環境づくりを目指します。

別紙様式

地域の郷土意識を高めることで農地維持につなげる

(組織名) 樋遣川ひまわり会 (市町村) 加須市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
1.3ha	ha	4.4km	km	km	箇所	2.3km

2 活動組織の構成員

○構成団体：樋遣川自治会等

○構成人数：22人(うち農業者9人)

3 地域の様子と取組内容

樋遣川ひまわり会の活動地区は加須市の中部に位置する水田農業地帯です。

高齢化の影響やそれに伴う後継者不足が予想される為、平成19年に農地・水環境保全対策事業を導入しました。

取組内容としては、農地の適正な維持管理を図るため、草刈や泥上げ、必要に応じて農用地、水路、農道の軽微な補修等を実施するとともに、休耕田にヒマワリやそばを植栽して、農村景観を維持しています。

さらに、地元小学生へのヒマワリ撒き、そば打ち指導を実施しています。児童・生徒に参加してもらい、地域を身近に感じて、郷土を大切にすることを養ってもらっています。



除草作業



ヒマワリ撒き



そば打ち



そば景観

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	・活動計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・農道・水路等の除草対策 ・ひまわり・そば植栽 ・小中学生ひまわり撒き ・そば打ち体験

5 取組の効果及び今後の展望等

ヒマワリの植栽により、休耕田の荒廃を防ぐとともに、良好な景観が形成されました。また、地元の小中学生が参加したことで、地域を身近に感じて、郷土を大切にする心を養うことができました。

今後も地域全体で農道や水路、農村景観維持活動に努めていきたいです。

地域で守る農村文化と地域資源

(組織名) 上宇和田保全組合 (市町村) 幸手市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
17.08ha	4.07ha	2.5km	— km	— km	— 箇所	— km

2 活動組織の構成員

構成員の人数 43 名（農業者 30 名、非農業者 13 名）

3 地域の様子と取組内容

当地区は幸手市の北東部に位置し、平坦な地形で水田が広がり、水資源に恵まれ良質な米を生産しています。地区内には水路が 2.5 km あり、地域ぐるみで維持管理を行っております。また、地域には辻縄という伝統行事があり、農村文化の伝承にも力を入れています。このような地域の環境保全や農村文化の伝承を持続できるよう当事業を活用し、地域ぐるみで保全活動に取り組むことで、地域の結びつきや環境保全に関する意識の更なる向上に努めています。

活動組織の取組としては、泥上げ、草刈り等による水路の維持管理、老朽化した箇所の補修による水路整備、地域の伝統行事（辻縄）やレンゲソウの播種による景観形成等を地域全体で実施し、地域資源の保全向上を目指しております。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> 施設の点検、機能診断 	<ul style="list-style-type: none"> 年度活動計画 景観形成計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 水路の草刈り、泥上げ 水路の軽微な補修 景観形成活動（レンゲソウの播種）の実施、 農村文化の継承（辻縄）



水路堀浚い



レンゲソウ播種
(ドローンによる作業の様子)



地域の伝統行事（辻縄）



辻縄作業

5 取組の効果及び今後の展望等

当組合の活動は6年目となり、毎年7月に水路草刈り、2月に水路泥上げの実践活動を地域ぐるみで実施し、水路の機能維持及び水田環境の保全に成果を得ています。4月には地域の伝統行事である辻縄を実施しており、地域のほとんどの住民が参加しているため、住民同士のつながりや地域の結びつきが強くなっています。また、景観形成活動として新たにレンゲソウの播種に取り組む活動を始め、地域住民の環境に対する意識の向上が図られているところです。

今後は、泥上げや草刈り等の維持管理を継続して行っていくとともに、水路の機能診断の結果に応じて軽微な補修も実施していきます。併せて景観形成による環境保全活動や農村文化の伝承にもさらに力を入れていきたいと考えています。



※ 辻縄とは→